

公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」開催のご案内

北海道総合地質学研究センター 第2回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」
北海道教育委員会主催 平成30年度前期 道民カレッジ連携講座（地域活動コース）指定

近年、多発する自然災害は日本の各地に大きな被害をもたらしています。特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター（Hokkaido Research Center of Geology: HRCG）は、北海道で起きている自然災害の状況と、自然災害の犠牲にならないための基礎知識をやさしく学ぶ市民向けの公開講座（6回シリーズ）を開催いたします。自然災害研究のエキスパートが市民向けにやさしく解説します。この講座は、北海道教育委員会主催 平成30年度前期 道民カレッジ連携講座（地域活動コース）に指定されていますが、道民カレッジ受講生であるかどうかにかかわらず、関心をお持ちの方はどなたでも受講することができます。各回には参加定員があり、受付は先着順となります。また資料作成費用などを含む受講料が必要です。6回の講座の全てを受講することが歓迎されますが、関心をお持ちの回のみを受講も可能です。詳細は北海道総合地質学研究センターのホームページ（<http://www.hrcg.jp/open.html>）をご覧ください。受講を希望される方は HRCG Office（office@hrcg.jp, 080-3296-8848）までお申し込みください。この講座に関するお問い合わせは HRCG Office（office@hrcg.jp）まで電子メールでお寄せください。

公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」

-北海道で起きている自然災害の状況と、自然災害の犠牲にならないための基礎知識を学ぶ-

主催：特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

その1：なぜ日本列島には自然災害が多いか

主な内容：日本列島の地形・地質、地球温暖化と災害、災害と地形、地質の見方とポイントを解説する

日時、会場：5/19（土）09:30-11:30（開場 09:00）、「かでの2・7」550 会議室

講師：山岸宏光（北海道総合地質学研究センター シニア研究員・理事）

受講定員：40名。受講料（資料代を含む）：1,300円。受講申込期限 5/9（余裕があれば前日まで受け付けます）

その2：地震火山列島日本

主な内容：地震火山列島日本、火山噴火による災害、地震による災害、丘陵・山地の災害、平野の災害などを説明する

日時、会場：6/16（土）13:30-15:30（開場 13:00）、「かでの2・7」550 会議室

講師：山岸宏光（北海道総合地質学研究センター シニア研究員・理事）

受講定員：40名。受講料（資料代を含む）：1,300円。受講申込期限 6/6（余裕があれば前日まで受け付けます）

その3：土砂災害（地すべり・崩壊・土石流）と河川氾濫

主な内容：土砂災害と河川氾濫はいつどこでおきるか。地すべり・崩壊・土石流、岩石崩落などについて解説する

日時、会場：7/14（土）13:30-15:30（開場 13:00）、「かでの2・7」550 会議室

講師：山岸宏光（北海道総合地質学研究センター シニア研究員・理事）

受講定員：40名。受講料（資料代を含む）：1,300円。受講申込期限 7/4（余裕があれば前日まで受け付けます）

その4：北海道の災害は本州とどう違うか

主な内容：北海道の災害は本州とどう違うか。北海道の地形・地質の特性と災害、本州と四国の災害を例に解説する

日時、会場：8/18（土）13:30-15:30（開場 13:00）、「かでの2・7」1010 会議室

講師：山岸宏光（北海道総合地質学研究センター シニア研究員・理事）

受講定員：40名。受講料（資料代を含む）：1,300円。受講申込期限 8/8（余裕があれば前日まで受け付けます）

その5：防災情報とはどんなもの？

主な内容：防災情報とはどんなもの？それはどこにあるか？その活用法，地理情報システムなどを討論（我が家の防災マップなど）

日時，会場：9/15（土）13:30-15:30（開場 13:00），「かでる2・7」550 会議室

講師：山岸宏光（北海道総合地質学研究センター シニア研究員・理事）

受講定員：40名。受講料（資料代を含む）：1,300円。受講申込期限 9/5（余裕があれば前日まで受け付けます）

その6：地すべり地形見学

主な内容：手稲山巨大地すべりの地形見学。地すべり地形の特徴，扇状地，砂防施設など，地すべり地の諸現象を野外見学する

日時，集合解散場所：9/29（土）13:00-16:00，JR 手稲駅

講師：宮坂省吾（北海道総合地質学研究センター シニア研究員）・山岸宏光（北海道総合地質学研究センター シニア研究員・理事）

受講定員：25名。受講料（資料代・移動経費・保険料を含む）：3,000円。受講申込期限 9/19（余裕があれば前日まで受け付けます）

講師紹介

山岸宏光

1966年北海道大学理学部卒業。道立地下資源調査所（現：道総研地質研究所），新潟大学，愛媛大学において地すべり災害，火山災害，地震災害，GIS（地理情報システム）などの研究に長く従事してきたこの分野の国際的エキスパート。理学博士。日本地すべり学会元会長。

宮坂省吾

1968年北海道大学理学部卒業。北海道の地質の変遷の研究を行うとともに，地質コンサルタントとして自然災害の研究に長く従事し，北海道大学・北海道教育大学で講師（非常勤）を務めた。理学博士。

- ・主会場の「かでる2・7」は札幌市中央区北2条西7丁目です。
 - ・道民カレッジは北海道教育委員会が主催するものです (<https://manabi.pref.hokkaido.jp/college/index.html>)。)
 - ・道民カレッジ認定単位は 一般 2単位，一般必須 1単位，その6のみ一般 3単位，一般必須 1単位です。
 - ・取得した個人情報特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センター (<http://www.hrcg.jp>) のプライバシーポリシー (http://www.hrcg.jp/documents/privacy_161116.pdf) に従い，適正に管理いたします。
-

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センターご紹介

設立年月日

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センターは、北海道内外の大学や研究機関、教育機関、企業などで地質学の研究・教育・実務に従事し、退職の時期を迎えた者たちとその予備軍によって 2016 年 3 月 1 日に設立されました。

設立目的

北海道総合地質学研究センターは所属する会員が退職後もそれぞれの創造的活動を意欲的に継続するための基盤となるセンターに、また会員が培ってきた地質学に関する専門性を活用して、社会に貢献するためのセンターになることを目指しています。

主な事業・活動

北海道総合地質学研究センターの主な活動は年に約 4 回程度の研究セミナーの開催、年に 2 回程度の公開講座の開催、年に 2 回程度の電子ジャーナル「総合地質」の発行です。これらは北海道総合地質学研究センター外にも公開されています。電子ジャーナル「総合地質」には地質学に関する様々な論文などが掲載され、国会図書館や国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センターの「地質文献データベース」に収録されます。

活動形態

北海道総合地質学研究センターは現時点ではバーチャル・分散システムを採用しています。日常的には電子メールやインターネット経由で意見交換や、様々な議論を行っています。そのため会員には北海道総合地質学研究センターから電子メールのアカウント (@hrcg.jp) が提供されます。

会員

北海道総合地質学研究センターの会員は地質学の専門家に限定されているわけではありません。地質学に関する創造的な活動を行う意思がある方はもちろん、地質学に関心を有する方であればどなたでも参加することができます。入会金は不要で、年会費は正会員が 6,000 円、一般会員が 5,000 円、賛助会員が一口 2,000 円で 5 口以上、院生・学生会員は 1,000 円となっています。

メールニュース

北海道総合地質学研究センターでは、開催する研究セミナー、公開講座、電子ジャーナル「総合地質」などに関するメールニュース (不定期) を配付しています。ご希望の方は office@hrcg.jp 宛にお名前を添えて e-mail にてご連絡ください。その e-mail アドレス宛にニュースをお送りいたします。お送りいただいた個人情報の取扱は北海道総合地質学研究センタープライバシーポリシーに基づき、適正に管理されます。

連絡先・問い合わせ先

関心をお持ちの方は北海道総合地質学研究センターのホームページ (<http://www.hrcg.jp>) をご覧下さい。また地質学に関する様々な質問など、office@hrcg.jp までお気軽にお寄せください。

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

ホームページ : <http://www.hrcg.jp>, 電子メールアドレス : office@hrcg.jp

事務所 : 札幌市西区山の手 2-3-5-24, 電話 : 080-3296-8848